

東北ウエストエナジ

最新技術で排水処理

ABBITシステム販売 メンテ不要、臭い除去

環境事業および関連製品を扱う東北ウエストエナジー(株)(山形県米沢市、高野富士雄社長)は、

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

新開発だ。これらの融合で新たな排水処理システムが実現した」と強調する。

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「XEBIO」は付着したバクテリアがナノバブルにより活性促進され徹底的に分解を行なうことで、排水の汚れ・臭い・着色まで解消する。

高野社長は「これまでの排水処理は、排水中の汚れを分解してしまつたスラッジ(汚泥)がほとんど発生せず、産業廃棄物処理の手間や費用もほぼかからないため費用対効果に優れている。」

ABBITシステムは販売開始より、食品加工や機械部品製造など10工場以上で実績がある。段ボール向けではこれから東北地区の大手段ボール工場で数カ月現地試験を実施。排水量をはじめイオンキヤ糊も処理し、処理速度等にもよるが基本はタンク3基(1基=排水量/日)で対応、コンパクトな省スペース設計も特長である。

同工場では「産業廃棄物処理のスラッジが無くなり薬剤等が不要なシステムは非常に画期的な技術だ。色などの見た目はもちろん、現在はまだ規制が厳しくないとはいえ、常に近隣の住民などに配慮している臭いが消えることは大変いい」と好評。

高野社長は「これまでの排水処理は、排水中の汚れを分解してしまつたスラッジ(汚泥)がほとんど発生せず、産業廃棄物処理の手間や費用もほぼかからないため費用対効果に優れている。」

高野社長は「今年4月から東証の分類および呼称が変更された、海外からの投資を活性化するためのと聞く。外国の投資家は、環境対応に取り組んでいる企業は未来性があると判断し投資を行う。今後、国内でも同様の傾向が予想される。物流を支える段ボール産業の1層の発展に寄与したい」とした。

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも

「ABBIT排水処理システム」は、3つの新技術が融合することで完成した。高野社長は「すべてが新技術。マイクロ・ナノバブル自体はすでにあったが、このほどゾンの組み合わせで処理水の臭いまで強力に除去。作業不要のメンテナンスフリーで、スラッジも



マイクロ・ナノバブルや特殊スポンジ内のバクテリアで排水を強力分解

「XEBIO」は付着したバクテリアがナノバブルにより活性促進され徹底的に分解を行なうことで、排水の汚れ・臭い・着色まで解消する。マイクロ・ナノバブルおよびオゾン発生装置は自動運転で稼働、省エネ対応(新技術)のためラニングコストを低減。特殊スポンジはタンク内に沈めるだけ、スポンジの浮遊はバクテリアの分解及びナノバブル効果を促進させるためほとんど手間はかからない。スポンジは6~7年以上継続して使用し続けられる試算である。凝集剤等の薬剤投与などの手間が不要。専用の作業も要らず、オペレーションに「行く」と強調。

高野社長は「これまでの排水処理は、排水中の汚れを分解してしまつたスラッジ(汚泥)がほとんど発生せず、産業廃棄物処理の手間や費用もほぼかからないため費用対効果に優れている。」

高野社長は「今年4月から東証の分類および呼称が変更された、海外からの投資を活性化するためのと聞く。外国の投資家は、環境対応に取り組んでいる企業は未来性があると判断し投資を行う。今後、国内でも同様の傾向が予想される。物流を支える段ボール産業の1層の発展に寄与したい」とした。

問合せは、東北ウエストエナジー・東京支社 TEL080-7590-0992まで。